

平成 2 6 年度中小企業の振興に関する
中小企業支援団体の施策の実施状況

平成 2 7 年 5 月 1 9 日
秋 田 県

目 次

1	秋田商工会議所	・ ・ ・ ・ ・	1
2	秋田県商工会連合会	・ ・ ・ ・ ・	5
3	秋田県中小企業団体中央会	・ ・ ・ ・ ・	11
4	秋田県信用保証協会	・ ・ ・ ・ ・	14
5	(公財) あきた企業活性化センター	・ ・ ・ ・ ・	16

中小企業振興条例関連施策の実施状況について

支援団体名	秋田商工会議所
-------	---------

①経営基盤の強化

(相談機能の強化、資金供給の円滑化、事業承継の円滑化に関すること)

(相談機能)

① 中小企業等への巡回指導・窓口相談

中小企業の経営安定を図るため、巡回指導・窓口相談を行った。

- ・ H26 年度 巡回指導実績：5,807 件、窓口相談実績：3,698 件
(H25 年度 巡回指導実績：5,681 件、窓口相談実績：3,140 件)

② 専門家派遣

中小企業が抱える課題等の解決を図るため、専門家相談を実施した。

- ・ H26 年度 専門家相談（商工調停士）による個別相談実績：28 件
(H25 年度 35 件)

主な支援分野：債権回収、経営改善、就業規則の作成等

(資金供給)

① 制度融資斡旋実績

中小企業の資金繰りの安定を図るため、制度融資の斡旋を行った。

- ・ H26 年度 運転資金 243 件、3,041 百万円、設備資金 80 件、655 百万円
(H25 年度 運転資金 535 件、8,801 百万円、設備資金 201 件、1,752 百万円)

(事業承継)

① 秋田県事業引継ぎ支援センターの設置(平成 26 年 4 月 1 日)

秋田県内の中小企業等の円滑な事業承継に関する支援を行うため、「秋田県事業引継ぎ支援センター」を設置し、相談対応した。

- ・ H26 年度 受付件数 281 件
(親族内承継 127 件、従業員承継 38 件、第三者承継等 116 件)
- ・ H26 年度 成約完了件数 1 件

② 秋田県後継者人材バンクの設置(平成 27 年 3 月 13 日)

創業を目指す起業家と後継者不在事業主を引合せ、事業引継ぎの実現に向けた支援を行うため、「秋田県後継者人材バンク」を設置した。

②新たな市場の開拓等

(国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援、県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大、交流の拡大による事業展開への支援に関すること)

(国内外における販路開拓・取引拡大への支援)

① 小規模事業者持続化補助金

小規模事業者の販路開拓を支援するため、商談会への出展費用等の2/3(上限50万円)を支給する「小規模事業者持続化補助金」の申請書の作成を支援した。

・H25年度補正予算

【第1回】採択件数10件、275万円(申請件数11件、539.8万円)

【第2回】採択件数3件、180万円(申請件数20件、996万円)

・H26年度補正予算

【第1回】採択件数17件、779.9万円(申請件数31件、1,475万円)

③企業競争力の強化

(生産性の向上支援、技術力の強化と製品・商品の高付加価値化への支援、設備投資の促進、企業間の連携の促進、産学官連携の強化、その他の企業競争力強化への支援に関すること)

(企業連携の強化)

① 技術連携交流会の開催

技術者や研究者が自社の強みや特徴をPRできる場を作ることで、技術的な連携や具体の事業連携を図るため、開催した。

・H26年度 4回開催(6/6:18名、9/4:30名、12/9:24名、3/27:32名)

(H25年度 1回開催(12/18:10名))

② 企業ニーズアンケート調査

新商品開発や新事業展開に関するアイデアや企業連携の課題などのニーズを把握するためアンケート調査を実施した。

・H26年度 1回実施(当所会員企業(製造業)1,113社が対象、回収73社(回収率6.5%)、うち企業連携に関心があると回答した企業は34社)

③ 企業連携セミナー・技術相談会の開催

新商品開発や新事業展開に意欲ある企業を講師にセミナーを開催し、企業連携への意識醸成を行うとともに、技術課題を抱える企業に対して個別相談会を実施し、相談対応した。

・H26年度 11/12開催(参加者45名、相談対応1件(技術開発))

④新たな事業の創出

(事業の多角化・事業の転換への支援、創業の促進に関すること)

(創業支援)

① 創業補助金 (国)

新たに創業する者その創業等に要する経費の一部を助成する。補助対象経費の 2/3 (100～200 万円) 以内。

- ・ H26 年度 4 件、800 万円
(H25 年度 5 件、958.5 万円)

② あきた起業支援補助金 (県)

県内において新規起業を目指している方に、起業に必要な経費の一部を補助する。補助対象経費の 1/2 (上限 150 万円) 以内。

- ・ H26 年度 4 件、230.7 万円
(H25 年度 4 件、294.1 万円)

(創業の促進)

① あきた起業塾の開催

起業意欲のある方々に対して事業計画書の作成等の支援を行う内容で「あきた起業塾」を開催した。

- ・ H26 年度 3 回開催 (第 1 回 31 名、第 2 回 20 名、第 3 回 37 名)
(H25 年度 3 回開催 (第 1 回 27 名、第 2 回 18 名、第 3 回 20 名))

② 事業計画書ブラッシュアップコースの開催

起業支援を目的とした補助金等の採択を目指すため、専門家による個別相談を行い、事業計画書の作成を支援する「事業計画書ブラッシュアップコース」を開催した。

- ・ H26 年度 3 回開催 (第 1 回 9 名、第 2 回 5 名、第 3 回 7 名)
(H25 年度 3 回開催 (第 1 回 11 名、第 2 回 11 名、第 3 回 10 名))

③ 起業塾受講者等個別サポート事業(専門家相談)

あきた起業塾受講者等で起業に至っていない方など起業初期段階の方を対象に、専門家による個別サポートを行った。

- ・ H26 年度 延べ 13 名 (起業前 延べ 7 名、起業済 6 名)

④ プチ起業家セミナー、起業家フォローアップセミナーの開催(各 1 回)

事業計画書を見直す機会を提供し、経営の安定を図るため、セミナーと参加者交流会を開催した。

- ・ H26 年度 2 回開催 (プチ起業家 : 22 名、フォローアップ 42 名)

⑤ 起業家育成事業の実施

潜在的な起業家等の発掘と、若年層への起業意識醸成を図るため、大学特別講演会を開催した。

- ・ H26 年度 2 回開催 (ノースアジア大学 : 79 名、秋田公立美術大学 12 名)

⑤地域の特性に応じた事業活動の促進

(地域資源を活用した商品の開発支援、技術の継承への支援、商店街の活性化支援、農商工連携等の促進等に関すること)

(6次産業化)

① JA 新あきたとの6次産業化プロジェクトの実施

秋田県産の枝豆の生産拡大を図るため、6次産業化・農商工連携支援事業費補助金(市)を活用し、JA 新あきたと枝豆冷凍化プロジェクトを実施した。

・H26年度 ①JA 新あきた産枝豆の試作品づくり(生産・選別・洗浄:JA 新あきた、ボイ
ル・冷凍加工:株四季彩、冷凍保管:北斗製氷)

②飲食・旅館組合等を通じた消費者ニーズ調査(冷凍加工した秋田産枝豆を
21店舗に無償提供し、来店客(824名)を対象にアンケート調査を実施
した)

⑥人材の育成及び確保

(学校教育における職業及び勤労に関する教育の充実、職業能力の開発及び向上への支援、雇用に関する情報提供、雇用環境の整備の促進、女性と高齢者の能力の活用の促進に関すること)

(就職促進)

① 新規高卒者・中小企業等就職促進セミナーの開催

地元中小企業への就職促進と短期離職防止を図るため、セミナーを開催した。

・H26年度 7/26開催(高校生229名、保護者22名、学校関係者32名、後援及び関係者31
名)

(H25年度 7/28開催(高校生128名、保護者16名、学校関係者29名、後援及び関係者24
名))

平成26年度中小企業振興条例関連施策の実施状況について

支援団体名	秋田県商工会連合会
-------	-----------

①経営基盤の強化

(相談機能の強化、資金供給の円滑化、事業承継の円滑化に関すること)

(相談機能)

- ア. 経営指導員 106 名による巡回相談：15,229 社、66,593 件（窓口相談：5,006 社、12,575 件）
- イ. 専門家派遣による個別相談指導：713 件
- ウ. 講習会による集団指導：151 回、3,100 社(人)参加
- エ. 会計ソフト「ネット de 記帳」による経営管理支援：2,537 社
- オ. 商工会職員研修の開催：延べ 15 回、417 人受講
- カ. 中小企業大学校への派遣：延べ 9 コース、22 名派遣（うち中小企業診断士養成課程 1 名）
- キ. 中小企業診断士の養成と活用：1 次試験対策講座 延べ 48 名、有資格者 15 名
- ク. タブレット端末の活用：全県 21 商工会（経営指導員 107 名、事務局長 16 名）に一斉配備し、巡回相談における経営支援体制を整備・強化

(資金供給)

- ア. 経営指導員 106 名による金融相談：巡回相談 5,805 件、窓口相談 2,189 件
- イ. 金融あっ旋数：3,384 件、16,718 千円（うち決定：2,376 件、16,674 千円）
うち県制度融資：あっ旋数：410 件、4,971 千円（うち決定：409 件、4,956 千円）
- ウ. 商工調停士等による経営安定相談：50 件
- エ. 事業継続計画（BCP）に基づく商工会共済の推進（事業資金の積み立て等）
 - ・商工貯蓄共済（貯蓄・補償・融資への備え）：43,613 口
 - ・会員福祉共済（ケガや病気、がんへの備え）：7,451 口
 - ・小規模企業共済（事業主の退職金）：6,262 件
 - ・経営セーフティ共済（取引先の倒産の備え）179 件
 - ・中小企業退職金共済（従業員退職金支払いへの備え）：2,132 人
 - ・特定退職金共済制度（従業員退職金支払いへの備え）：1,426 人
 - ・PL 保険、海外 PL 保険制度（製造物責任への備え）：232 件
 - ・業務災害保険制度（労災事故に関わる幅広い補償）：140 件

(事業承継)

- ア. 事業承継に関する実態調査（県主催「県内中小企業事業承継実態調査」に 21 商工会が協力）
 - ・調査対象 2,150 社、回収 2,011 社（回収率 93.5%）

- イ. 事業承継推進相談員 4 名による巡回訪問・相談支援
 - ・ 1,594 社、相談案件受付：240 件（親族内 143 件、親族外 72 件、M&A15 件、創業 3 件）
 - ・ 事業承継に関する専門家派遣 20 件
- ウ. 若手経営者（後継者）の経営能力向上支援
 - ・ 経営者スキル習得塾（21 青年部）の開催：延べ 93 回、871 人受講
 - ・ 青年・女性事業等活性化セミナーの開催：延べ 10 回、547 名受講
（事業承継、経営革新、事業計画作成、販促・マーケティング、地域活性化手法等）

②新たな市場の開拓等

（国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援、県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大、交流の拡大による事業展開への支援に関すること）

（国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援）

- ア. 経営指導員による市場拡大計画の策定と実践の集中支援 105 社
 - ・ 売上増加企業 66 社（60.5%）
 - ・ 営業利益増加企業 51 社（49.6%）
- イ. 小規模事業者持続化補助金の活用支援
 - ・ 採択数：176 社（応募数 216 社、採択率 85%）
 - ・ 総事業費 123,473 千円
 - ・ 補助金額 64,887 千円
 - ・ 売上増加企業の割合 60.5%
 - ・ 営業利益増加企業の割合 50.6%
 - ・ 販路拡大効果（売上増） 86,190 千円（1 社平均 690 千円）
 - ・ 初めて補助金を活用した企業 111 社（68%）
- ウ. 経営計画策定支援セミナーの実施（全県 21 商工会）
 - ・ 開催数 33 回、421 社受講、うち個別相談 213 社参加
- エ. ニッポン全国物産展（全国連主催・池袋サンシャインシティ 11.21～23）への出展
 - ・ 来場者数 143,612 人、売上額 1,622 千円、出展企業数 8 社
- オ. グルメ&ダイニングスタイルショー（全国連主催・東京ビックサイト 2.4～6）への出展
 - ・ 来場者数 29,986 人、出展企業 2 社、商談件数 80 件、うち成約件数 4 件
- カ. 地域のカニッポン市への出展（全国連主催・のべ 6 回、10 社出展）

・ 松坂屋名古屋店（7.16～21） 1 社	・ 仙台三越（11.12～17） 4 社
・ 大丸東京（9.10～16） 1 社	・ 東武池袋（12.4～9） 1 社
・ エミフル MISAKI（11.12～17） 1 社	・ 博多阪急（12.17～25） 2 社
- キ. アンテナショップへの出展
 - ・ かつの商工会「あきた鹿角屋」（中野区新井楽師 7.13～2.28）8 社、15 品※鹿角以外の数
 - ・ 全国商工会連合会「むらからまちから館」（千代田区有楽町 4.1～3.31）4 社、8 品
- ク. コンテストへの出品支援（全国連主催）

- ・全国おやつランキング 全国3位 晶栄のあんごもち (株)晶栄
 - ・全国むらおこし特産品コンテスト 全国連会長賞 ハタハタオイル漬 (株)鈴木水産
- ケ. 台湾商談会の開催（共同海外現地進出支援事業、秋田県、秋田銀行、県貿易促進協会と共催）
- ・台北市 平成26年10月19日～23日
 - ・出展10社、商談数102件、うち成約1件
- コ. ECサイト「ニッポンセレクト. com」への登録 31社、114品
- サ. 経営指導員による「取引」に関する指導 巡回指導393件、窓口指導133件

（県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大）

- ア. 地区別商工会おもてなしまつりの開催
- ・県北地区：平成26年8月23日～平成26年8月24日
 - ・中央地区：平成26年8月30日～平成26年8月31日（商工会数：6会）
 - ・県南地区：平成26年9月13日～平成26年9月14日（商工会数：7会）
 - ・場所：秋田駅東西連絡自由通路「ぽぽろ一ど」特設会場
 - ・来客数：58,521人、販売額：2,173千円、出展数：304品
- イ. 全県商工会おもてなしまつりの開催
- ・全県地区：平成26年10月11日～13日
 - ・場所：秋田市アゴラ広場・大屋根下
 - ・来客数：83,098人、販売額：11,620千円、出展数：347品

（交流の拡大による事業展開への支援）

- ア. 海外進出支援セミナー・交流会の開催 10社参加、のべ3回

③企業競争力の強化

（生産性の向上支援、技術力の強化と製品・商品の高付加価値化への支援、設備投資の促進、企業間の連携の促進、産学官連携の強化、その他の企業競争力強化への支援に関すること）

（生産性の向上支援）

- ア. 食品加工・調理技術に関する専門家派遣 7件

（技術力の強化と製品・商品の高付加価値化への支援）

- ア. 経営革新計画承認に向けた個別支援
- ・承認数4社、承認申請に向けた個別支援社数54社

（設備投資の促進）

- ア. マル経融資（小規模事業者経営改善資金）のあっ旋
- ・貸付件数469件、貸付総額1,971,410千円 ※運転資金含む

(企業間の連携の促進)

- ア. 秋田県小規模事業者連携支援事業の活用支援
・採択数4社（応募数5社）

(産学官連携の強化)

- ア. 秋田産学官ネットワークへの参画
・幹事会への参加 6回

④新たな事業の創出

（事業の多角化・事業の転換への支援、創業の促進に関すること）

(創業の促進)

- ア. 創業支援室（インキュベーション施設）の活用
・2商工会で開設、4社入居（美郷町商工会2社、由利本荘市商工会2社）
- イ. 起業・創業塾の開催
・6商工会でのべ15日間開催、受講者77名、うち15社が創業
- ウ. 経営指導員による起業・創業指導 対象124人、349件
- エ. 事業承継・創業推進員の配置と活用 3指導センターに4名配置
- オ. インキュベーションマネージャー活用 有資格者4名（うち26年度1名養成）
- カ. 国・県の起業補助金活用支援 10件
- キ. 新創業融資（国民政策金融公庫）のあっ旋 6件、11,600千円

⑤地域の特性に応じた事業活動の促進

（地域資源を活用した商品の開発支援、技術の継承への支援、商店街の活性化支援、農商工連携等の促進等に関すること）

(地域資源を活用した商品の開発支援)

- ア. 優良特産品「べっぴんさん品」の認定（全県21商工会）
・認定数164社、241品
- イ. かつの商工会 アンテナショップの設置「あきた鹿角屋」（東京都中野区新井楽師）
・売上実績1,370万円（購買客数6,052名）※営業5カ月（12月末までの実績）

(技術の継承への支援)

- ア. 湖東3町商工会 「匠集団ビジネスチャンス創出事業」
- イ. ゆざわ小町商工会青年部「秋田美人と匠の郷事業」

(商店街の活性化支援)

- ア. 北秋田市商工会 「商店街カレッジ事業」
- イ. 潟上市商工会 「潟上3スマイル☆マーケット事業」

- ウ. 河辺雄和商工会 「芸術の里かわべゆうわ アートの魅力でまちづくり事業」
- エ. にかほ市商工会 「買物弱者バス運行・にかほ3Tづくり事業」
- オ. よこて市商工会 「空き店舗有効活用対策事業」

(農商工連携等の促進等に関すること)

- ア. かつの商工会 「農商工連携実践塾」
 - ・ 14 社受講、3 日間のべ 8 時間開催
- イ. 秋田県六次産業化推進会議への参画

⑥人材の育成及び確保

(学校教育における職業及び勤労に関する教育の充実、職業能力の開発及び向上への支援、雇用に関する情報提供、雇用環境の整備の促進、女性と高齢者の能力の活用の促進に関すること)

(雇用に関する情報提供)

- ア. 若年求職者及び一般求職者開拓支援 (県委託事業)
 - ・ 若年雇用推進員の設置 11 商工会に 11 名設置
 - ・ 訪問企業数: 10,595 社
 - ・ 求人開拓社数: 2,118 社
 - ・ 求人数: 3,855 人
 - うち新卒採用者数 410 人 (高卒: 164 人、大卒: 13 人、29 歳以下: 233 人)

(女性と高齢者の能力の活用の促進に関すること)

- ア. 青年・女性リーダーの育成
 - ・ 商工会女性部員セミナー: 75 名受講
 - ・ 主張発表秋田県大会の開催: 青年部 116 名、女性部 108 名
 - ・ 主張発表東北六県北海道ブロック大会: 青年部 97 名、女性部 39 名
 - ・ 商工会青年部、女性部全国大会: 青年部 19 名、女性部 12 名

平成26年度 経営支援目標10項目と実績

平成 27年 4月
秋田県商工会連合会

全 県 目 標		H26 実績	達成率	H25 実績	前年比 (H26-25)
成長型支援	1 市場拡大計画策定	105社	100.0%	—	—
	2 経営革新計画承認	5年間で100社	20.0%	—	—
	3 巡回訪問	64,000件	104.4%	61,734件	108.2%
	4 マル経資金	428件	108.9%	364件	128.0%
	5 持続化補助金(国制度)	セミナ一21商工会 採択件数200件	100.0% 88.0%	—	—
	6 消費税転嫁対策	セミナ一21商工会 専門家派遣105件	100.0% 120.6%	21商工会 129件	100.0% 92.8%
	7 起業・創業	創業塾参加100人 起業補助金活用10社	77.0% 100.0%	45人 4社	171.1% 250.0%
	8 事業承継	実態把握2,000	126.4% —	— 相談21社	— 1,142.8%
	9 若年雇用開拓	求人開拓数1,000社 求人若年数2,000人 ※内若年採用者数300人 ※内若年採用者数600人 ※内若年採用者数200人	211.8% 192.8% 128.0% 206.5% 205.0%	1,743社 3,311人 3,204人 — —	121.5% 101.4% 188.2% — —
	10 専門家派遣	605件	117.9%	680件	104.9%
持続型支援					

平成26年度中小企業振興条例関連施策の実施状況について

支援団体名

秋田県中小企業団体中央会

①経営基盤の強化

(相談機能の強化、資金供給の円滑化、事業承継の円滑化に関すること)

(相談機能)

- ① 相談件数 6,712件 対前年比 815件増加
- ② 組合等訪問件数 813件 対前年比 119件増加
- ③ 個別相談事業 5件 対前年比 4件増加

(資金供給)

- ① 秋田県中小企業組織融資制度の実施
組合金融の円滑化を図るため、融資を実施した。
H26年度融資実績：16件 720百万円

(事業承継)

- ① 事業承継円滑化事業で4組合を対象に、研修会を実施。また、組合員企業10社に対し、12回の専門家派遣を実施し、事業承継計画の立案前の課題整理を支援した。
- ② 県から事業承継浸透事業の委託を受け、10月及び11月に県内3地区(県北、中央、県南)で計6回のセミナーを開催した。(出席者延べ186名)

②新たな市場の開拓等

(国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援、県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大、交流の拡大による事業展開への支援に関すること)

(国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援)

- ① ブランドチャレンジモデル事業
下請け依存体質からの脱却を目指し、自社オリジナル製品のブランド力を高め、売上向上を図り収益基盤強化のための支援を行った。(対象：1社)
- ② 食品事業者サポートネットワーク構築事業
県からの上記事業の委託を受け、県内食品事業者の国内外における販路開拓及び取引拡大を図るため、「FOODEX JAPAN2015」に出展した。
H26年度実績：開催日時 平成27年3月3日～6日
出展企業数 5社 商談成立 43件

③企業競争力の強化

(生産性の向上支援、技術力の強化と製品・商品の高付加価値化への支援、設備投資の促進、企業間の連携の促進、産学官連携の強化、その他の企業競争力強化への支援に関すること)

(生産性の向上支援)

① 経営力強化支援事業

生産性の向上を図るため、現場に専門家による集中的な支援を行った。対象は、2社であるが、その内1社に対する支援では、不良率の低減を課題に行い、21%から15.5%への改善がなされた。

(設備投資の促進)

① ものづくり・商業・サービス革新事業

国の24、25年度補正ものづくり補助金の地域事務局として、これまで延213社の採択企業に対する支援を行った。

④新たな事業の創出

(事業の多角化・事業の転換への支援、創業の促進に関すること)

(事業の多角化・事業の転換への支援)

① 組合連携コーディネート事業

組合や組合員企業の連携による差別化(新製品・サービスの開発、既存の製品・サービスの魅力向上等)や事業の多角化による、県内企業の競争力強化につながる取り組みを、専門家を交えて支援を行った。(対象:2連携体)

⑤地域の特性に応じた事業活動の促進

(地域資源を活用した商品の開発支援)

① 秋田市6次産業化人材発掘・育成研修事業(秋田市からの受託事業)

6次産業化に関する専門性を高め、実践者を育成するため、研修会を開催した。また、商工業者とのマッチングの商談会を開催し、地域資源を活用した商品の開発支援を行った。

(技術の継承への支援)

① 組合技能伝承事業

各業界において伝承しなければならない技能・技術について、熟練の技能を保有する指導者(伝承者)から、将来を担う若手に伝承するための技能・技術研修を実施した。

(対象:2組合)

(商店街の活性化支援)

① 秋田県商店街振興組合指導事業(県補助金)

商店街の活性化を図るため、研修会を3回開催した。(出席者延べ48名)

⑥人材の育成及び確保

(学校教育における職業及び勤労に関する教育の充実、職業能力の開発及び向上への支援、雇用に関する情報提供、雇用環境の整備の促進、女性と高齢者の能力の活用の促進に関すること)

(職業能力の開発及び向上への支援)

① 組合役職員スキルアップセミナー

組合の役職員を対象に、組合運営に必要なスキルの向上を図る研修会を5回開催した。

(出席者延べ 119 名)

平成26年度中小企業振興条例関連施策の実施状況について

支援団体名	秋田県信用保証協会
-------	-----------

①経営基盤の強化

(相談機能の強化、資金供給の円滑化、事業承継の円滑化に関すること)

(相談機能強化)

- ・協会独自の専門家派遣
保証利用先106企業(25年度は84企業)に対し延べ304回
支援内容:新商品開発、販路開拓、生産管理、改善計画策定支援他
- ・企業訪問
1,962企業を訪問(25年度 1,573企業)し、資金相談・経営相談、各種情報提供等を実施。

(資金供給の円滑化)

- ・26年度保証承諾 700億円(前年比89.7%)
資金需要は全般的に低調、設備資金は工場建設や介護施設など不動産投資が13%増となっているが、機械・車両購入などが減少しており、設備資金全体では前年比96%にとどまっている。

②新たな市場の開拓等

(国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援、県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大、交流の拡大による事業展開への支援に関すること)

(国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援)

- ・販路開拓支援として国内商談会への参加斡旋や、出店ブース代を協会で負担。
県産食材等マッチング商談会(秋田市 8企業を支援)
FOODEX JAPAN(千葉県幕張メッセ 5企業を支援)
- ・海外の見本市出店費用として保証支援の実施

③企業競争力の強化

(生産性の向上支援、技術力の強化と製品・商品の高付加価値化への支援、設備投資の促進、企業間の連携の促進、産学官連携の強化、その他の企業競争力強化への支援に関すること)

(企業間の連携の促進)

・企業連携支援

ものづくり中小企業の連携支援として講演会を開催(26年11月、中小企業者等約240名参加)

(その他の企業競争力強化への支援)

・各種セミナーの開催

介護施設経営者向けなどのセミナーを開催

④新たな事業の創出

(事業の多角化・事業の転換への支援、創業の促進に関すること)

(創業の促進)

・26年4月に協会内部組織として「創業支援チーム」を新設。創業前から事業が軌道に乗るまで一貫して支援する体制(女性職員だけで構成する「女性創業支援チームポラリス」を併設)

・26年度創業資金利用実績

106企業(前年度119企業) 569百万円(前年度 545百万円)

内女性創業者 30企業(前年度 18企業)

・26年度創業資金利用者が新たに雇用した従業員数は、170名

・創業者向け交流会の開催

県内6か所で創業者のための交流会を開催。協会から税金に関する説明を行った後、従業員教育など経営上の悩みを相互に話し合うなど交流を深めた。(創業者47名参加)

平成26年度中小企業振興条例関連施策の実施状況について

支援団体名	公益財団法人あきた企業活性化センター
-------	--------------------

①経営基盤の強化

(相談機能の強化、資金供給の円滑化、事業承継の円滑化に関すること)

(相談機能の強化)

- ・相談件数 6,824件 (前年度 5,229件 30.5%増)
- ・6月30日 あきたよろず支援拠点開設 (国事業受託)
経営コンサルタント (コーディネーター・サブコーディネーター) 7人配置
来訪者数 729者
- ・9月1日 中小企業振興コーディネーター4人の配置 (県事業受託)
 - ・訪問件数 812件

②新たな市場の開拓等

(国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援、県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大、交流の拡大による事業展開への支援に関すること)

(国内外における販路の開拓・取引拡大への支援)

- ・受発注あっせん紹介
あっせん紹介件数 690件 (前年度 513件)
- ・商談会開催
青森・秋田・岩手3県合同商談会
7月2日 東京都 県内企業 57社参加 (前年度 57社)
秋田広域商談会
11月26日 秋田市 県内企業 83社参加 (前年度 69社)

○次世代自動車参入プロジェクト事業

- ・自動車メーカー・部品メーカーとのマッチング、新技術・工法の芽出し、域内連携を支援するため、「プロジェクトマネージャー」1人を秋田市に配置
- ・中京地区のマッチング、発注動向調査等のため、「中京地区自動車産業アドバイザー」3人を中京地区に配置
- ・訪問企業数 プロジェクトマネージャー43社、アドバイザー119社

③企業競争力の強化

(生産性の向上支援、技術力の強化と製品・商品の高付加価値化への支援、設備投資の促進、企業間の連携の促進、産学官連携の強化、その他の企業競争力強化への支援に関すること)

(生産性の向上支援、技術力の強化と製品・商品の高付加価値化への支援)

- ・ 知財総合支援窓口事業 (国事業受託)
相談件数 1,377件 (前年度 1,298件)
- ・ あきた産業デザイン支援センター事業 (県事業受託)
相談件数 302件 (前年度 278件)

○設備投資の促進

- ・ 設備資金貸付 (所要資金の1/2を、活性化センターが直接、無利子融資)
貸付決定 2件 17,620千円 (前年度 2件 11,643千円) ※平成26年度で制度終了
- ・ 設備貸与事業 (機械設備を、活性化センターが直接、割賦販売またはリース貸付)
貸付決定 14件 179,460千円 (前年度 22件 431,090千円)
国の制度は、平成27年度から新制度に移行。国の制度の対象とならない企業に対しての事業であった機械類貸与事業は、制度を拡充し、継続実施。

④新たな事業の創出

(事業の多角化・事業の転換への支援、創業の促進に関すること)

(事業の多角化・事業の転換への支援)

- ・ あきた企業応援ファンド事業
59.5億円のファンドの運用益を原資として、地域資源を活用した県内中小企業の新たな事業展開を支援
採択件数 34件 147,132千円 (前年度 27件 95,711千円)
☆電解攪拌技術を応用した新商品の開発と使用分野の拡大
☆使用済み紙おむつ燃料化装置の小型化装置の試作
☆スイッチング電源用セラミックコンデンサの開発
☆高性能光学部品分野における微細表面加工の技術開発と新製品の販路拡大
☆レーザー誘導式の無人搬送車 (AGV) 開発
☆特殊表面処理開発と販路拡大
☆装飾性の高い障子スクリーン等の開発と欧州市場での売上向上体制の構築
☆鉛フリーファラデー回転子製品の開発
☆小麦ふすま粉入り稲庭うどんの製造
☆県産米あきたこまちと菜の花を活用した日本製脱毛ワックス剤の開発と販路拡大
☆航空機用洗浄装置の開発及び販路拡大
☆大館産枝豆を活用した加工・特産化プロジェクト
☆後三年合戦を活用した統一ブランド構築による商品開発支援事業 等

(創業の促進)

- ・秋田県産業振興プラザ創業支援室（県庁第2庁舎3階 11室 内10室入居）
事務スペースの貸し出しとインキュベーションマネージャーによる指導、相談対応
- ・地域需要創造型等起業・創業促進事業（国事業受託）
秋田県事務局として、起業・創業に要する費用を上限2百万円で支援
今年度20件採択
 - ☆誰でも気軽に楽しめる、カフェのような居心地のロッククライミングジムの経営
 - ☆イタリア料理を基にした地域体験型カフェと料理教室、本格料理店の経営
 - ☆発毛効果を有するカキドオシエキスの製造・販売
 - ☆秋田県産食材の新しいブランディング方法の提供
 - ☆空き家ビジネスを専門とした不動産事業の展開
 - ☆女性をターゲットにしたフレンチ・カフェ事業の展開
 - ☆「白神こだま酵母」を使用した手作りパンの販売とパン教室の実施
 - ☆日本酒好きが集う和カフェの展開
 - ☆自家製麺・化学調味料不使用、「あきた」から発信するヘルシー麺
 - ☆建物の水回り・屋根外壁塗装専門リフォーム事業の展開 等

⑤地域の特性に応じた事業活動の促進

（地域資源を活用した商品の開発支援、技術の継承への支援、商店街の活性化支援、農商工連携等の促進等に関すること）

(地域資源を活用した商品の開発支援、農商工連携等の促進に関すること)

- ・あきた農商工応援ファンド事業
25.3億円のファンドの運用益を原資として、中小企業者等と農林漁業者とが連携して取り組む県内農林水産物を活用した新商品・サービスの開発等の取組を支援
採択 9件 30,813千円（前年度 12件 35,892千円）
 - ☆比内地鶏を使った秋田県らしさを出した餃子・タレの開発・販路開拓
 - ☆県産米を原料とした安全・安心な食品素材「コメネピュレ」の改良・開発と販路開拓
 - ☆善兵衛栗を使用した渋皮煮・甘露煮、マロングラッセ及びその他菓子の商品開発
 - ☆県産エゴノリを活用した、安心・安全な新しい食品の開発及び販路開拓
 - ☆県産なまこを原料とした乾燥なまこ製造過程で発生する未利用部分・規格外品を活用した新商品開発及び販路開拓
 - ☆「酸っぱくない水煮ジュンサイ」PH調整しない真水による長期保存可能な水煮ジュンサイの開発と販路開拓
 - ☆「安心・安全秋田県産どじょうの加工品開発」通年販売可能などじょうの加工品開発と市場調査
 - ☆果実や野菜の規格外品、未利用部分を活用した高齢者や障害者に向けた機能性食品（冷菓）の開発及び販路開拓

⑥人材の育成及び確保

(学校教育における職業及び勤労に関する教育の充実、職業能力の開発及び向上への支援、雇用に関する情報提供、雇用環境の整備の促進、女性と高齢者の能力の活用の促進に関すること)

(職業能力の開発及び向上への支援)

- ・あきた営業力強化塾

11月開催の秋田広域商談会を実践の場として、営業担当者を対象に、商談会前のプレ研修と商談会後のフォロー研修を実施

プレ研修 11月10日 秋田市 25人参加 (前年度 26人)

フォローアップ研修 12月8日、9日 秋田市 9人参加 (前年度 19人)

- ・営業戦略策定研修

ものづくり企業の経営者、管理監督者、営業責任者等を対象に、営業戦略の立案・実践・検証、プレゼンテーションスキルの向上に関する研修を2回実施

第1回 2月16日 秋田市 31人参加 (前年度 34人)

第2回 2月25日 秋田市 26人参加 (前年度 31人)